



第1回進路希望調査より③



今回は、第1回進路希望調査で生徒のみなさんが記入されていた「先生に相談したいこと、質問したいこと」の中から多かったものをQ & Aで記載したいと思います。保護者の方からのものは、次号に掲載します。

第1回進路希望調査のQ & A【生徒編】

Q1 勉強の仕方がわからない。苦手教科の勉強方法が知りたい。1、2年生の復習はどうすればよいか。〇〇の教科の勉強方法がわからない。

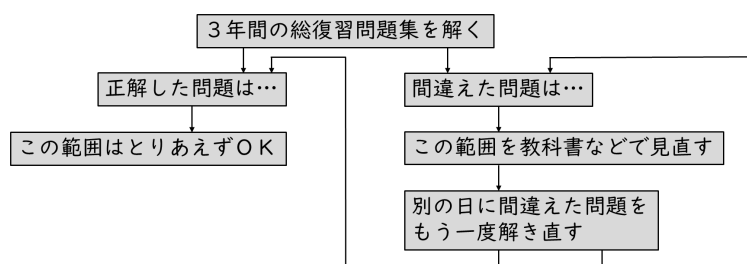
A まず、高校の入試で出題されるのは、「中学で学習した範囲」です。一般的な高校は、中学で学習した内容以外は出題されません。逆に言えば、中学で学習した内容はどこからでも出題される可能性があるため、1、2年の復習は必須です。この1、2年の復習を学習する時期としておススメなのが、「夏休み」です。夏休みには、3年間の総復習問題集のような問題集を1冊で良いので、一通り解いてください。正解した問題は、理解できている範囲です。大事なものは、間違えた問題です。この問題が、理解できていない範囲です

から、教科書などをもう一度読み返してください。そして別の日にもう一度間違えた問題を解いてください。こうやってくり返ししながら問題集をすべて正解してください。すべて正解したら、その問題集の2周目

に入ります。2周目は、1周目よりもスムーズに問題集が解けるはずですが、その中で何度も間違えてしまう範囲は、重点的に学習しなければならない範囲（苦手な範囲）ということです。

上に記載した勉強方法は、1つの例です。勉強方法は様々です。大山崎中学校の卒業生にどんな勉強をしていたか、現在調査中ですので、まとめ次第、キャリア通信に掲載する予定です。

また、各教科の勉強方法について、一番良いのは「スペシャリスト」に聞くことです。「スペシャリスト」とは、もちろん各教科担当の先生たちです。恥ずかしがらずに、ぜひ直接聞いてください。先生たちは丁寧に勉強方法を教えてくれますよ。



Q2 学科やコースの違いがわからない、意味がわからない。

A 学科は大きく分ければ「普通科」「専門学科」「総合学科」の3つです。

「普通科」は、国語・数学・理科・社会・英語など普通教科目を中心に学習します。中学の教科や学習のイメージにいちばん近いでしょう。

「専門学科」は専門学科からさらに「農業に関する学科＝農業科」「工業に関する学科＝工業科」

「商業に関する学科＝商業科」など各分野に分かれます。

専門学科は他にも「家庭に関する学科＝家政科」「看護に関する学科＝看護科」「音楽科」「美術科」などがあります。

専門学科はもともと、専門技術や知識を身につけ、すぐに実社会に出るための教育をするのが目的でしたが、近年は理数系に特化した学習を行い、大学進学を前提とした専門学科や、スポーツ・芸術などを学ぶ専門学科も設けられるようになってきました。

「総合学科」は、「普通科」と「専門学科」で学ぶことが両方を受けられる学科です。

コースは、同じ学科内を更に細かくわけたものです。

例えば、ある高校で、「普通科特進コース」と「普通科進学コース」の2つのコースがあるとしたら、「特進コース」は「国公立大学を目指すコース」、「進学コース」は「私立大学を目指すコース」というように、目指す大学でコースが分かれていることがあります。

また、「体育コース」や「グローバルコース」など、スポーツに特化したコースや国際教育に特化したコースなどを設置している学校もあります。

特に、私立高校は特色を出すため、さまざまなコースが設置されています。詳しくは、それぞれの高校の学校パンフレットに記載されています。読んでも分からない時は、ぜひ先生に聞いてください。

Q 3 行きたい学校が決まらない、わからない。

A 高校を選択する際、ポイントは様々です。「部活動」「大学進学実績」「通学時間」「校風」人によっては、「制服」や「プールの有無」で考える人もいるかもしれません。行きたい学校が決まらない人は、どのポイントで高校を選択するかを決めましょう。例えば、「部活動」で決めるなら、スクールガイドの後ろのページに記載されている「部活動一覧」を見て、興味のある部活動がある高校をピックアップして、見学や部活動体験に行ってください。「大学進学実績」なら、学校パンフレットやホームページに記載されていることが多いので、それらを積極的に見ることです。

Q 4 高校の過去問はあるか？どこで手に入るか？

A 過去問題集は中学校に置いていません。ご自身で書店にて購入していただく必要があります。過去問題集には、問題と解答以外に解説まで掲載されています。

公立高校については、問題と解答だけなら、インターネットで検索すると公開されていることがあります。

私立高校に関しても、各高校のホームページに掲載されていることがあります。一度検索してみてください。

Q 5 今の学力で行ける学校が知りたい。

A このような質問をしている人にお伝えしたいのは、「今の学力（成績）で高校を選ぶのではない」ということです。今の学力（成績）で行ける学校を探すのではなく、「自分が行きたいと思う学校」を探してください。行きたい学校を見つけ、その学校に入るために「努力（勉強）」をすることが必要です。

Q 6 「すべり止め」が決まらない。

A 公立高校が第1志望で、私立高校を第2志望以下とする場合、私立高校を「併願で受験する」と言います。よく「すべり止め」という言葉で表現されることがありますが、「すべり止め」という言葉は、私立高校に対して失礼に当たります。「すべり止め」と言わずに「併願」と呼ぶようにしてください。私立高校の個別相談会へ行った時に「この学校をすべり止めに考えているんですが…」と相談してしまう人がいます。私立高校の先生は、良い印象を持たれません。生徒のみなさんも保護者のみなさんも気をつけてください。

学校の探し方は、Q 3のAに記載した通りです。

Q 7 意志を強く持って受験勉強を続けられるか不安だ。

A 受験勉強は、長い戦いになります。時にはサボりたくなったり、遊びたくなったりする時が来ます。その時に頼りになるのが、「仲間」の存在です。仲間と一緒に続けられるのです。だから、「受験は団体戦」といわれます。その一方で、「受験は個人戦」という声もあります。どちらが正しいのでしょうか。

答えはどちらも正しいと思います。だからこそ、敢えてこのように書きます。

「受験は個人戦。だが、受験勉強は団体戦。」

一人ひとりの心が強くなり、チーム（学級）の絆が深まったとき、サクラ咲く日はやってくると思っています。学校で仲間と一緒に乗り越えてほしいです。